

## Press Release

### セキュリティフライデー、大手企業向けファイルサーバ専用パケットアクセスログシステム オーバークギガ対応・デュアルキャプチャ方式「VISUACT™-H シリーズ」を発売

azbil グループのセキュリティフライデー株式会社（本社：神奈川県藤沢市藤沢 89-1 社長：佐内大司）は、国内トップ企業（\*1）を中心に導入されているファイルサーバ専用アクセスログ収集システム VISUACT（ビジュアクト）の最上位シリーズとして、オーバークギガ対応・デュアルキャプチャ方式「VISUACT-H シリーズ」を7月13日から販売いたします。

VISUACT-H シリーズは、デュアルキャプチャ方式と弊社独自の高速パケット解析アルゴリズムの採用により、従来比3倍以上のスループットを実現いたしました。

パフォーマンスの向上とデュアルポートでのパケットキャプチャ方式を採用することで、大規模ファイルサーバで冗長化や高速処理のために利用される、トランッキングやクラスタのアクセスログをよりシンプルなシステム構成で取得できるようになりました。システム構成の簡素化により、ハードウェアの削減が可能になり、品質の向上、導入・管理の負荷やコストの低減が行えます。また、海外現地法人向けに Windows 英語 OS 対応版の提供を開始いたします。

ファイルサーバのパケットアクセスログを生成する VISUACT シリーズは、①本来業務用のサーバや社員が使用する PC へのソフトウェアのインストールや設定が一切不要で、生産性に悪影響を与えない、②ステルス化やサーバ管理者からの権限分離など、証跡性の向上が行える、③Windows サーバや NAS など複数種の OS が混在する環境でも使用できる、という特長から、国内トップ企業に多く導入されてきました。

トップ企業のシステム環境では、サーバの冗長化や負荷分散のために、通信経路を二重化するクラスタを構成したり、通信の冗長化やサーバの性能を引出すためにサーバとネットワークスイッチ間でポートトランッキング技術等が利用されています。従来の VISUACT ではこれらの環境で使用するために複数台のハードウェアでログを取得していましたが、ユーザからは「よりシンプルなハードウェア構成でログを取得したい」という要望がありました。今回発売の VISUACT-H を使用することにより、これらの環境でファイルサーバのアクセスログを1台のハードウェアで取得可能になりました。

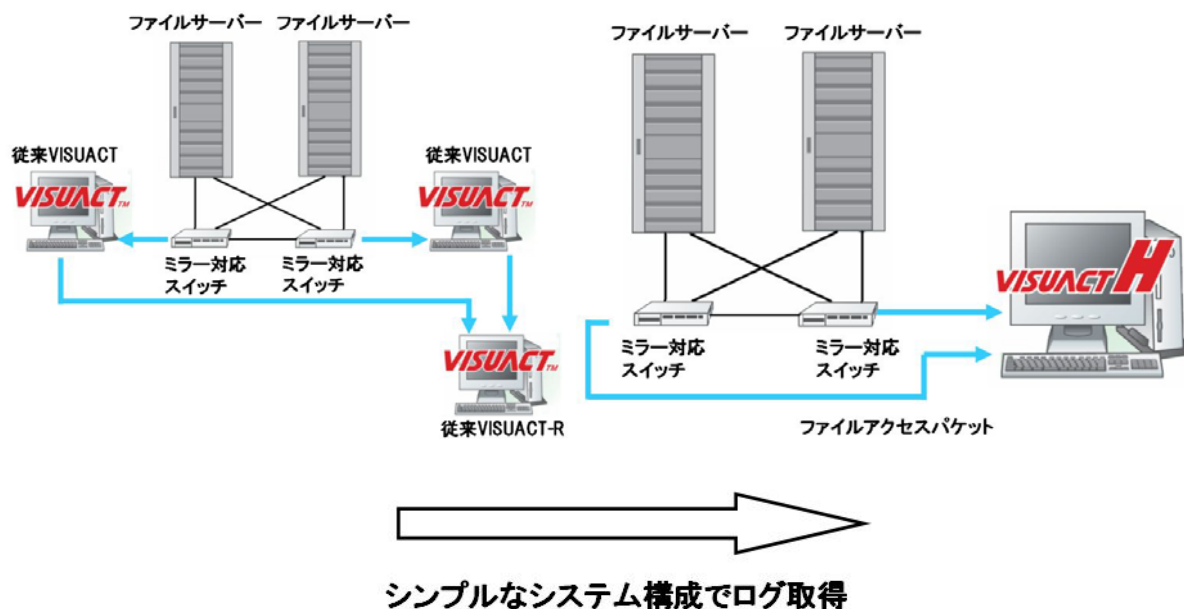
\*1 国内トップ企業とは、国内品質経営度総合ランキング上位企業を表しています {第5回「企業の品質経営度」調査(2009年)結果による。主催：(財)日本科学技術連盟 協賛：日本経済新聞社 調査・解析：㈱日経リサーチ}

VISUACT シリーズは、国内品質経営度総合ランキング上位10社の内7社で採用されています。

- 販売価格（参考） VISUACT-H 1サーバライセンス 180万円  
VISUACT-H クライアントライセンス 50万円から
- 売上計画 2013年度 2億円
- 販売方法 OEM販売と弊社代理店からのライセンス販売
- 出荷開始 8月20日

セキュリティフライデーは、azbilグループの理念である「人を中心としたオートメーション」のもと、IT社会における様々な課題やセキュリティ問題を解決するソフトウェアを提供してまいります。

\*VISUACTは、株式会社山武の商標です。



株式会社 山武 本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 社長：小野木聖二

読者から本件についてのお問い合わせ先：

セキュリティフライデー株式会社 営業部 TEL.0466-26-5666

担当：内田 sales@securityfriday.com

報道関係各位からのお問い合わせ先：

株式会社 山武 経営企画部 広報グループ TEL：03-6810-1006

担当：小貝／吉原／須藤 publicity@jp.yamatake.com